



院内広報誌

SUMMER

こころの虹

か・け・は・く

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

ホームページ URL <http://www.oikawahp.net>

Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 23 2011年07月 発行

患者様の権利と義務

患者様には「ご自身が生命の主人公」として、医療従事者とのよりよい人間関係を築いていきましょう以下の「守られていること」「守っていただきたいこと」があります。

人格 権

患者様は個人としての人格、価値観などを尊重されます。

受 療 権

いつでも必要かつ十分な医療サービスを受けるために、医療機関を選択する権利があります。

知る 権 利

病名、病状、診療計画、検査・手術、薬、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利があります。

同時に、私たちに既往歴、現病歴、現在の治療内容、アレルギー歴など健康に関する情報を正確にお伝えください。

自己決定 権

十分な説明を受け、理解した上で、提案された診療計画などを自らの意志で決める権利があります。

同時に、それらの内容に関する指示を守る義務があります。

納得できない場合は、他の医師や医療機関の意見を求めることができます。

プライバシーに関する権利

個人の秘密や医療に関する個人情報が守られ、私的なことにみだりに干渉されない権利があります。

参加する 権 利

診療内容や病院の運営につき苦情や意見を述べ、医療改善の活動に参加する権利があります。安全性を高めるためお名前の確認などにご協力ください。

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。被災地の皆さまのご健康と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

人間の体は、例えば右足を痛めているとそれを庇って左足が故障するとか腰が痛くなるとかします。今回の東北地方の災害は、日本にとって人間の体と同じように必ず他の地方に影響が出るはずです。だから私たちは、支援と同時に私たち自身がこの地で元気に頑張っていかなければならぬと思います。当院の専門である乳腺外科と緩和ケアにおいて出来ることは、今まで以上に積極的に行っていく所存です。

人の体を診るのもやはり人です。器械はその道具でしかありません。人の充実と能力の向上も又、私たち医療に携わる者の義務でしょう。

この4月から緩和ケア部長に稻光哲明医師を迎えるました。昨年就任しました乳腺外科の久松和史医師、更に常勤の塙谷医師他非常勤医師も含め、一つの体制が出来たと思っております。またスタッフにおきましても緩和ケア認定看護師を誕生させました。これで乳がん看護認定看護師とともに、専門領域においてその核となる人材が出来ました。しかしいつでも、中心は患者様です。私たちが身につけるべき能力や技術は、患者様のお気持ちに立つためにある、それを忘れず今後も医療に取り組んでいきたいと思います。



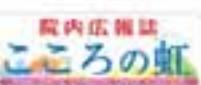
及川病院ホームページをリニューアルしました！

この広報誌「こころの虹」が第一回から見ることができるほか、連載中の野村医師のコラム「乳がんを知ろう」も第一回掲載から閲覧できるようになりました。

「乳がん治療に役に立つ耳寄りなお話」では乳腺外科部長久松医師と看護認定看護師白石師長が、乳腺疾患に関する質問にお答えしたり、情報を伝えています。

また新しく「お知らせ」欄を設け、当院医師の休診日や当院に関するお知らせをいち早くお伝えできるようになりました。

そのほか「薬局便り」や「栄養科便り」「及川病院活動報告」など当院の情報が満載です。ぜひご覧ください。ホームページは「及川病院」で検索。



及川病院

検索



～医師紹介～



緩和ケア・心療内科部長

稻光 哲明



平成23年4月より緩和ケア・心療内科を担当することになりました稻光哲明（いなみつ・てつあき）です。これまで、出身の九州大学を皮切りに、その後鳥取大学、福岡歯科大学と、長く大学に籍を置いて、診療はもちろんのこと、教育や研究にも従事して参りました。診療領域は、循環器系や自律神経系の心身症を専門としており、パニック障害、うつ病、慢性疲労症候群、歯科心身症、多汗症、高血圧、低血圧などの疾患を診療してきました。今回、及川病院に転任し、新たな緩和ケアの領域で、これまでの経験を生かして、患者様の“からだ”と“こころ”を全面的に支援していくよう、勉強して参りたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

『すみれの会』5月会が開催されました

及川病院の患者さまの会『すみれの会』5月会にて、母の日キャンペーンイベントとして、久松乳腺外科部長の講演とハモンドオルガン演奏者長直樹さんによる癒しの音楽会を開催しました。

久松医師講演会

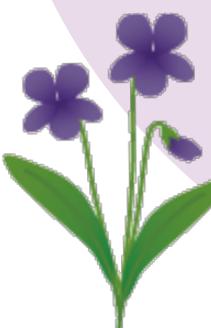


皆さんメモを取りながら真剣に
聴いておられます

オルガニスト・音楽セラピスト
長直樹さん



素敵な音色にも長さんにもうっとり…
演奏の合間のお話にも癒されました



久松医師の講演では皆さん熱心に耳を傾けられ、親睦時間には久松医師を囲んで様々な質問をされていました。

音楽会では最近の曲から伝統的な曲まで幅広く演奏してくださいました。演奏が始まるとハモンドオルガンの素敵な音色に合わせてリズムをとったり、口ずさんだりしながら楽しいひと時を過ごされたようでした。

素敵な演奏を聴きながら…
手作りゼリーと
フルーツの盛り合わせ





桜まつり

4月9日4階病棟に桜を飾り『桜まつり』を行いました。

なかなか外出できない患者さまに春の気配を感じていただきたいという思いから毎年開催しています。当日は、桜茶や桜ようかん、患者さまとスタッフが一緒に作った不格好なたこ焼きを食べながら楽しく団らんしていただきました。



花咲じいさん登場
(院長です)



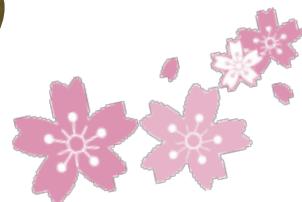
毎年本物の桜を飾ります



みんなで作ったたこ焼き
丸くならなくとも美味しい！



手作りの桜ようかん
ピンクの部分は桜の形になってます



～スタッフ紹介その2 総務課～

及川病院総務課は患者様やそのご家族にとって、家で過ごすのと同じような心安らぐ環境作りを目指して病院内の設備管理に日々努力しております。

また、多くの方に当院のこと、そして乳がんや緩和ケアに関する情報をお届けできるよう、ホームページ等を管理し及川病院の情報発信活動をしております。

患者様やご家族様と直接お会いする機会は少ないと思いますが、皆様からのお声を大切にし、改善を重ねてゆきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



総務課スタッフは
2階事務室にいます。

栄養科おすすめメニュー⑧

暑いこれから季節には、さっぱりとしたものが食べたくなりますよね。

冷たい中華風和え物のバンサンスーならツルツルっとのど越しよく食べられますよ。

☆バンサンスー（拌三絲）☆

材料4人分

春雨（乾）・・・80g

きゅうり・・・1本

ロースハム・・・50g

卵・・・2個

～タレ～

酢・・・大さじ5

砂糖・・・大さじ3

しょう油・・・大さじ3

ごま油・・・小さじ2



①春雨はたっぷりの熱湯で2分間ほど茹で、冷水にさらして冷まし、水けをきって食べやすい長さに切る。

②きゅうりは千切りにし、塩少々をまぶしてしんなりさせ、水で洗って水けをきる。ロースハムも細切りにする。

③卵は薄焼き卵を作り、細く切っておく。

④タレの材料を混ぜ合わせ、①②③を加えて和える。



連 載 野村雍夫先生の“乳がんを知ろう”

第二十一回 乳癌の手術つづき

顧問

野村雍夫

4. 乳房温存手術

拡大乳房切除術により乳癌の治療成績が向上しなかったことより、乳癌細胞は早くから血行性に全身に広がり、局所的な治療のみでは生存率の改善は得られないのではないかという考え方方が広まりました。また、以前に比べて小さな“しこり”により乳癌が発見され、マンモグラフィー、エコーによっても早期の乳癌が検出されるようになりました。

乳房内の癌組織ができるだけ必要最小限に切除し、乳房を温存する保存的手術により、前述の乳房切除術と同様の成績が得られることが1970～1980年代の欧米の無作為化比較試験で確認されました。

これにより、乳房温存手術は乳癌の標準的な手術とみなされ、乳房温存が好ましくない場合にのみ切除術が行われるようになりました。乳房温存手術は通常腫瘍径が2～3cm以下の乳癌が対象となります。乳房サイズが大きい場合にはそれ以上でも可能です。最近は術前治療（化学療法またはホルモン療法）により、癌を縮小させ、切除術しかできなった例に乳房温存療法を行うというスケジュールが多くなりました。

このような手術は癌の組織が残存しないことが肝心です（乳房を残すわけですから癌が残る可能性が常にあります）。癌を含めて乳房を大きく切除すれば癌が残る可能性は低くなりますが、手術の傷跡や乳房の変形が大きくなり、反対に癌のぎりぎりで小さく切除すれば、美容的にはよいですが、癌が再発する可能性が高くなります。

同側の乳房内再発は、若年に多く、大きな腫瘍、乳管内乳癌進展、リンパ管侵襲、多発癌などの場合に多く、注意が必要です。それを防ぐ一つの方法として、手術後に摘出乳房組織の辺縁を病理学的に検査します。非浸潤性または浸潤性乳癌が検出（断端陽性といいます）されれば、再手術（周辺を含めて切除）、または術後照射を追加することが必要となる場合があります。

乳房温存手術では、とくに小さな乳癌や限局性の乳癌などを除いて、術後放射線療法を併用することが一般的です。また、乳房温存療法後には乳房切除術と異なり、同側の乳房内の再発や新しい乳癌の発生の可能性があり、術後のマンモグラフィーなどの検査による監視が必要です。

次は腋窩リンパ節の問題です。